



もりおかさとこ
森岡聡子議員

女性の視点を生かした 取組みを

議員 女性の視点を生かすための地域での女性の人材育成、リーダーの発掘、ネットワークの構成等に関する今後の取組みをたずねる。

市長 女性が生き生きと活動している他市町の団体の視察、日本女性会議への参加支援など、ネットワーク活動の充実を図っていく。

議員 女性視点からの防災面、まちづくり、健康面の対策などをどう政策に反映していくのか。

市長 地域防災計画に基づき、避難所の運営に当たっては意思決定の場へ女性の参画を推進している。地域での女性活躍の場をつくることを目的にまちづくり女子会を3月に実施する。県内では珍しいレディーズ健診を実施している。



児童虐待の早期発見 ・対応を

議員 児童虐待の本市における現状は。また、児童虐待の防止の取組みは。

市長 要保護児童は毎年新規に40件ほどある。また、要保護児童の登録件数は毎年約200件である。虐待予防の取組みとして、親子が良好な関係を築くための子育て技法「コモンセンスペアレンティング」を導入している。さらにオレンジリボンや啓発チラシの配布、中高生から児童虐待防止ビデオを募集している。

議員 早期発見、早期対応策は。

市長 子どもの教育機関、保育機関ときめ細かく情報共有と連携を行い、早期発見・早期対策につなげている。



ふじいよしあき
藤井義明議員

市長 他人ごと市民の要望に対し

議員 就学前教育・保育施設再編整備計画の修正案では、陸地部に島しょ部の受け入れ施設を確保するとあるが、具体的にはどこか。

こども部長 現在の外浦保育所を幼保連携型こども園として存続させ、島しょ部の子どもの受け入れ先とするように考えている。

議員 横江幼稚園はなくなるのに、なぜ大島幼稚園は残るのか、理由をたずねる。

こども部長 宅地造成が進んでおり、子どもの増加も見込まれる中で、継続を示している。

議員 横江幼稚園近隣の美の浜に、家が建ち始めている。子どもが増える確率が高いと考えるが。



こども部長 再編整備計画の中で、各中学校区に1つは公立を存続させる方針をしており、富岡幼稚園や私立の保育園等で対応できると考え、当初の計画どおりとした。

議員 存続の要望書が、横江・大井・金浦などの保護者から出された。保護者は存続に一生懸命である。市長の思いをたずねる。

市長 こども部あるいは教育委員会、この配置を考え、まとめてくれた。それを尊重し、具体化していきたいと思っている。

議員 小さいお子さんが行くところは、近くで安心できるところが良い。保育園・幼稚園は、こども園として出来るだけ残してあげてほしい。子どもは宝です。